

能登強震地域踏査報告

輪島測候所

鹿島郡七尾町

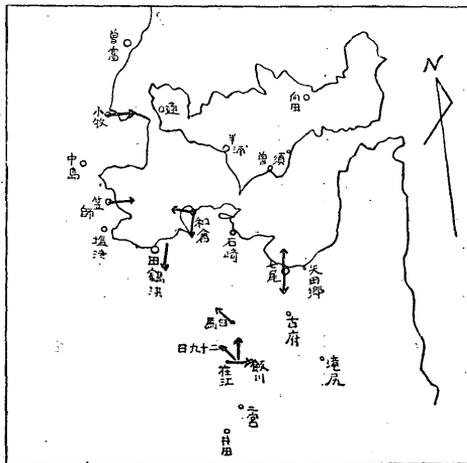
地震と同時に北西方より自動車の如き音を聞く、大手町附近にては「ドン」と音したる如し、町内の石燈籠殆んど顛倒す。地震後井水増加し赤土色に濁り又は所により白濁す。地震後路面の龜裂或は軒下より湧水し一時間乃至四時間にて渴む、被害多き所は海岸又は海岸に近き所なり。

三島町 酒屋の煉瓦造四角高さ約十五米の煙突、頸部約三分の一の處より破損し西方に落下す。土藏の基礎三十糎位西に移動し、西に傾斜し壁全部脱落せるものあり、家屋西に傾斜し壁に龜裂あり所々脱落せる部分あり、家屋の柱僅か移動せるものあり。大佛銅像の處の石燈籠南々西に顛倒す。

米町 軒下より地震後三、四時間位湧水したる所あり、家屋西に僅か移動し傾斜せるものあり、土藏傾斜し壁所々に脱落せるものあり。

富岡町 西宮神社の石燈籠顛倒せるも方向不明なり。

石碑、石燈籠、銅像の顛倒せる方向



大手町 鴨居の脱落せる所あり、地震と同時に「ドン」と言ふ音を聞く、餘震の際も同様の音したる如し。

一本杉町 ウインドウ硝子破損せる所數ヶ所あり、家屋の壁

一部分脱落せる所あり、金庫三糎位北に移動す。

檜物町 壁に龜裂あり、地震後井水増加し白濁す、床の間の置物等倒る。

小丸山公園 日蓮上人の銅像礎石共に高さ約十米、礎石は其儘なれども銅像の足部より折れて北々東に顛倒す、石燈籠は倒れず。

矢田郷村 古府、土藏の壁脱落せるもの五、六棟あり。矢田新、道路に龜裂あり、方向は北—南にして道路に直角なり、龜裂より一時間位湧水す。一部分地盤低下し、壘上下に約三糎喰違へり。柱傾き戸障子外方に彎曲す。

徳田村 飯川、徳田驛間道路側にある神社（社名不明）の鳥居（御影石にして可なり古い）の頭部横石北に七、八糎移動せるも落下せず、石燈籠二個共に顛倒す、方向は北及び北西なり。白馬神社の忠魂碑北西に顛倒す、家屋壁に龜裂あり、時計止る。白馬、池崎間道路に龜裂あり、道路に平行して北々東より南々西のものを道路に直角にして東より西のものとあり。二十九日、石燈籠等倒れたるを見ず。

越路村 二宮、地震と同時に自動車の如き音あり、地震後井水土色に濁り翌朝に至るも澄まず、水量の變化は不明なり、壁

に龜裂なし、棚の物體倒れたる所もありしが時計止らず。石動山に通ずる道路に石の落下せる所あり。在江、忠魂碑東に顛倒せり、時計止り、棚の物體落下す、硝子戸破損せる所あり。

瀧尾村 井田、時計殆んど止らず、棚の物落ちたる所もあり。井水變化なし、地震と同時に雷の如く「ゴ—」と音あり、方向不明。

能登島（七尾警察署調査）所々の崖小崩壊をなし、傷者を出せり。

西湊村 小島、小龜裂あり、石像顛倒せるも方向不明なり、寺院の大きな石燈籠數個は硝子一枚外れたるのみにして何等變化を見ず。松百、鐵橋の橋柱約十五糎沈下せるも列車運轉せり。小島、田鶴濱間鐵道の急カーブの個所レール僅か屈曲、移動したるも間もなく復舊し列車運轉せり。

石崎村 土藏北に傾斜し壁の脱落せるものあり、海岸近くの道路或は畑に北西—南東に龜裂數條あり、何れも海岸に平行なり。墓石殆んど顛倒す、八幡神社の石燈籠二個共頸部落下せるも方向不明なり、石鳥居（御影石にして新し）の中央の横石落下して破損せり、鳥居は北西—南東線上に建てるものにして北西側の柱石の基部に横に割目あるも倒れず。後方（西）の崖崩

壊したり。インライト工場の舊原料採取場の崖崩壊せり、又同工場の直後の採取場の坑口崩壊し、死者重軽傷者を出せり。

端村 和倉、家屋の柱約十糎移動せるものあり、温泉の導管

破損し、湯道路に噴出す。壁に龜裂を生じ屋根一部分破損す、地震前湯に何等變化なきも地震後湯量増加し間もなく以前の如くなる、井水濁る。戸障子外れたる所あり、開き扉の硝子全部南側に落下す、石燈籠顛倒せり、方向は西北西に二個、南に二個あり。奥原、土藏の稍ずれたるものあり、壁少し破損せり、縣道上に南方の小崖より二抱位の石落下せり。舟尾、石碑南々に顛倒せるものあり。田鶴濱、家屋西方に傾斜したるもの多し、戸障子外れ壁の脱落せるものあり、土藏倒壊一、半壊四なり。地震後井水減少す。

金ヶ崎村 白濱、石燈籠、石碑等の顛倒せるものを見ず。

笠師保村 鹽津、壁所々落ちたるものあり。笠師、石碑東に顛倒せるものあり。

中島村 瓦製造工場（休業中）の壁所々脱落、煉瓦造の竈の破損せる部分あり、煉瓦造七角、直徑四米（基部にて）位の大煙突の頭部破損し南―西―北に落下す、南方のもの最も遠く飛散せり、破片の一部は煙突上に残り、但し此の煙突には南側

及び北側の面に頂上より基部迄縦に稍古い割目ありたり。

西岸村 小牧、石碑東に顛倒せるものあり。外土藏の壁一部分脱落せるものあり。

鳳至郡穴水町 會福、石碑等倒れたるものなし。穴水、土藏の壁に龜裂、一部分脱落せるものあり。ウインドウ硝子破損せる所あり、棚の物落ち、植木鉢等顛倒す。石碑等倒れたるものを見ず。（以上籌技手調査）

南大谷村 人家石垣の僅かに崩れたる所一ヶ所、土藏人家の壁に罅の認めらるゝもの三ヶ所。

北大谷村 道路に裂目の生じた所數ヶ所ありし由なるも何れも踏みつぶされて詳細認め難し。

崎山及び東湊村 道路の僅かに崩れたる所諸所にあり。

能登島 西島村最も被害大なりとせられしも、宇須曾に於ては土藏の壁一部剥落せる所三棟、人家傾斜せるもの二軒。道路に三ヶ所裂目を認められた。當時方向不明なるも發震前地鳴を聞きたる由なり。宇半の浦にては防波堤破壊せる所數ヶ所、新耕地の護岸破損せること比較的多く、土藏の壁は一部分剥落せるもの大部分であつた。道路の「ヒビ」は四ヶ所認められた。役場吏員の談に依れば發震前地鳴を聞くも方向不明。尙突貫井

戸（最深十四間位この地にてはこれ以上は岩盤にて掘鑿不能の由）は全部濁つたが浅い手掘井戸は異常なかつた由、又戸障子外れたる家多く鴨居墜ちたる家一軒あり。宇通りに於ては新耕地の護岸南面せるもの一部缺潰す。地裂の中最も大なるものは大杉崎埋立地のものにして幅の最大五寸長さ四十間小さいもの無數にあり護岸コンクリート約二十纏沈下せり。（寫眞参照）之に次ぐものは和倉埋立地のものにして長さ三十間、幅三寸、其他は石崎七尾沿岸等何れも長さ數間位にして幅一寸以内なり。

崖崩れの最大なるものは石崎の東側のものにして約百坪と推定さる。（以上中田技手調査）

附記 當所に於て觀測されたる餘震と推定されるものは次の

回次	發震時	初期微動繼續時間	總震動時間	記事	本震との時刻差(ア)
一	二十一日二時四分二十九秒・六	四秒	一分	人感なし 本震中に混ず	八・三
二	一三・一〇・一五・七	三・九	二分	弱震(弱き方)	三六・七
三	一三・一五・二四・九	三・九	一分	人感なし	四一・九
四	一三・四九・五五・五	四・八	一分	人感なし	七六・四
五	一三・五九・三八・六	三・六	一分三十秒	微震	八六・一
六	一五・三六・二五・五	三・九	一分三十秒	微震	一八二・九
七	一六・三八・〇五・四	四・八	一分	人感なし	二四四・六

七回に過ぎず何れも微弱なものであつた。この餘震の各發現狀況を見るに、各回次の發震時と本震との時刻差は回次の増加するに従つて對數的に増加すること左圖の如くである。

餘震の發現狀況

